東陽の旋風（かぜ）～自立貢献～

令和４年５月２０日（金）No ６発行
文責：松本　卓也

心に残る運動会をありがとう！笑顔が輝いていました。

１５日（日）、令和４年度東陽中学校運動会を開催しました。今年のテーマは「No limit ～仲間とともにさらなる高みへ～」でした。子どもたちを大きく成長させる機会と捉え、子どもたち自身が考え、創り上げる運動会を目標に掲げ、取り組んできました。私たちは、極力前面には出ず、実行委員を中心に練習を行い、サポート役に徹しました。綱引きを親子対抗形式にしたり、８の字飛びを長縄飛びに変更したり、車輪（リム）転がしに生徒有志が参加したり、ダンシング玉入れを取り入れたり等々、プログラムの一つ一つに工夫があり、新しい運動会を創るという実行委員の熱い思いが伝わってきました。途中、小雨が降る等、天候には恵まれませんでしたが、最後まで子どもたちは懸命に競技に取り組んでくれました。特に、３年生にとっては最後の運動会。時には、練習が上手くいかなかったこともあったかと思いますが、運動会当日は大きな笑い声とたくさんの輝く笑顔に、心に残る運動会として胸に刻まれたことだと思います。この運動会で大きく成長した東陽中生を誇りに思います。子どもたち自身が考え、創り上げた運動会、保護者の皆さまには、子どもたちの姿がどのように映ったでしょうか。自分で主体的に意思決定できる社会人を育てるため、これからも『伸びる・つながる・乗り越える』特別活動の３つの視点を大事にした教育活動を進めてまいります。保護者の皆さまのますますのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新種目「ダンシング玉入れ」

「団ダンス」

「マスコット」

「熊本（八代）弁による選手宣誓」

運動会を振り返って

白団団長：「とても楽しく終わることができました。ダンスを上手く教えることができなくて、意見のぶつかり合いもありましたが、本番では協力して踊ることができました。負けたのは悔しいですが、団対抗はまだ残っているので、みんなで協力して頑張っていきたいです。」

赤団団長：「３年間赤団で、昨年まで悔しい思いをしてきました。今年は、開催が９月から５月に変更になったり、生徒が創る運動会になったりして、忙しくてとても悩みましたが、団のみんなが支えてくれて嬉しかったです。団関係なく、みんなが笑顔で終われていい思い出になりました。」

【編集後記】「東陽の旋風」への返信を頂いています。

▼学校だより「東陽の旋風」も第６号となりました。特に２年生の保護者の方々からたくさんの返信をいただいています。お会いする保護者の方々からも「学校だより楽しみにしています」と声をかけていただき嬉しく思います。運動会の感想の中よりいくつか紹介します。

・趣向を凝らした運動会、楽しく観覧させていただきました。

・運動会、とても楽しく拝見しました。小雨の中でも、子どもたちが一生懸命参加していて東陽中らしいほっこりとした運動会でした。コロナ渦の中、先生方もご指導大変だったと思いますが、運動会が開催できて嬉しかったです。

▼返信は励みになります。ありがとうございました。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（　　）